

JLP-15タイプ 取扱い・施工説明書 サンポット床暖房用パネル JLP-15B・JLP-15H・JLP-15R・JLP-15RC

施工前の確認

■床構造

- 床下地は、床暖房パネルを施工しない状態で、床下地自身が『床』としての十分な強度があるか確認してください。
 - 根太は45mm角以上、根太ピッチ303mm以内、下地合板12mm以上ありますか。
 - 根太に段差が出ていませんか。
 - 床下地は平面になっていますか。
- 床下の断熱構造は、グラスウール100mm相当以上、寒冷地では150mm相当以上の断熱構造となっていますか。

特に注意していただきたいこと。

- 配管及び使用する配管部材は、必ずサンポット純正部品をご使用ください
- 循環水は、サンポット純正不凍液を必ず使用してください。
- 1回路の敷設枚数には制限があります、(パネル仕様の最大敷設枚数の項目参照)敷設はこの最大敷設枚数以内とさせていただきます。
- 使用する架橋ポリエチレンパイプは、傷を付けないように注意して取扱うこと。
- 架橋ポリエチレンパイプは、太陽光及び電燈光で劣化するため直接光線が当たらないように保護すること。

開こん

・パネルの他に次の物が同梱されています、梱包材といっしょに捨てることの無いように点検し、ご使用ください。

名称	1畳用パネル	半畳用パネル	廊下用パネル	廊下コーナー用パネル
形式	JLP-15B	JLP-15H	JLP-15R	JLP-15RC
部品	パネル……2枚組合せて1畳 パイプ押え……2 血木ネジ……50本 (予備5本含む)	パネル……1枚 血木ネジ……20本 (予備5本含む)	パネル……1枚 血木ネジ……24本 (予備4本含む)	パネル……1枚 血木ネジ……16本 (予備4本含む)

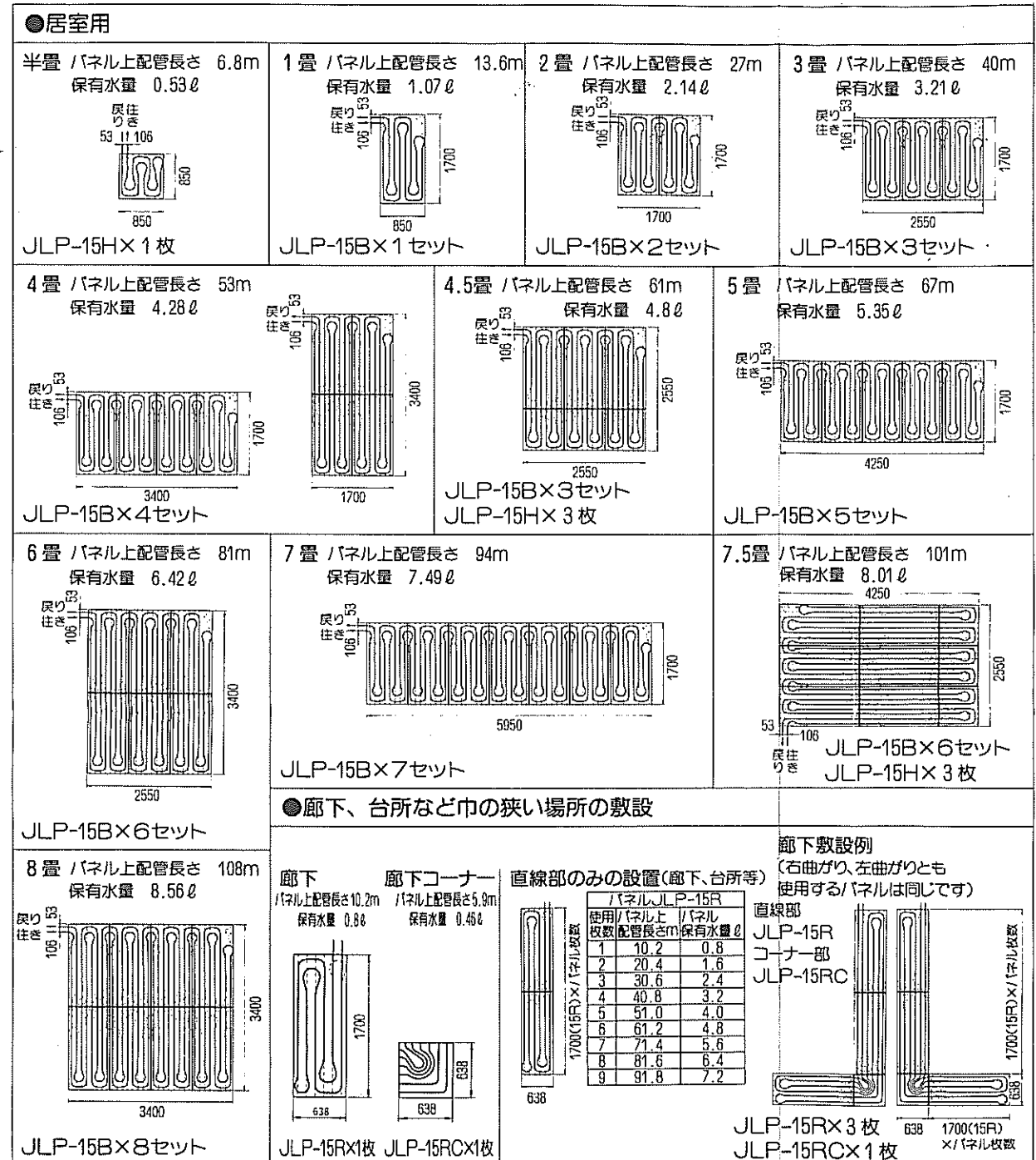
パネル仕様

名称	1畳用パネル	半畳用パネル	廊下用パネル	廊下コーナー用パネル
形式	JLP-15B	JLP-15H	JLP-15R	JLP-15RC
外形寸法(mm)	2枚組合せて1セットで1畳			
厚さ(mm)	15			
重量(kg)	15 (1セット)	7.5	11.2	5.6
適応送湯管	架橋ポリエチレンパイプKP-10AT			
送湯管使用長 パネル枚数あたり(m)	13.6 (1セット)	6.8	10.2	5.9
送湯管保有水量 (ℓ)	1.07 (1セット)	0.53	0.80	0.46
標準水量ℓ/min	1回路 1.8			
標準水頭損失 (mH ₂ O)	0.39 (1セット)	0.19	0.29	0.17
最高使用圧力 (kgf/cm ²)	1.0			
試験圧力 (kgf/cm ²)	2.0			
最大敷設 枚数	8枚又は8畳 (15Hは0.5枚で計算)		9枚 (15RCは0.5枚で計算)	

パネル敷設工事

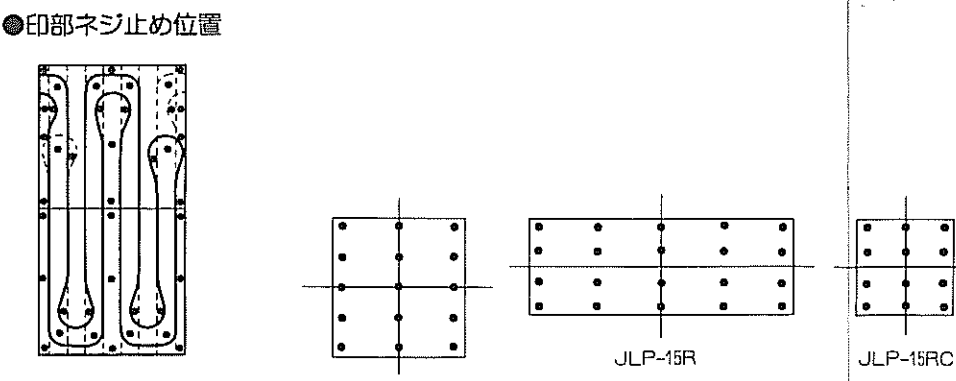
1. パネルの標準敷設例・配管パターン。

- 架橋ポリエチレンパイプの必要長さは、下図のパネル上配管長さにヘッダー迄の行き・戻り配管長さを少し長めに加えて下さい。
- JLP-15Bはパネルを1セットに組合せた図で表示してあります。敷設時にはセット毎に組み合わせて敷設してください。



2. パネル敷設上の注意

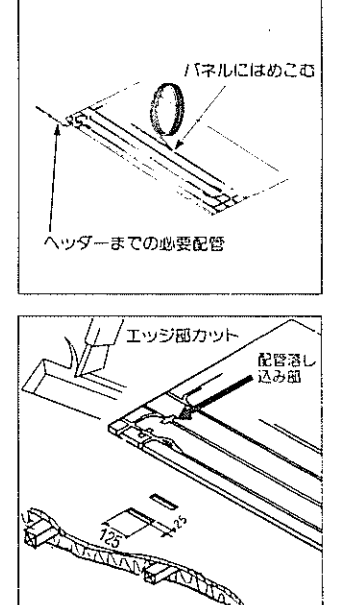
- 下地は、「モルタル下地」か「合板下地」で施工してください。根太の上に直接パネルを施工することは出来ません。
- 合板下地は厚さ12mm以上のT1合板を使用し、平坦で十分な強度があること。
- パネルの固定は付属のネジで行う。下図の部分にネジ止めて、パネルに浮きがないか確認し、浮いていたらその部分を追加ネジ止める。



- モルタル下地は接着剤を使用してパネルを固定する。その場合、接着剤は別売のKU-939S-6(夏用)又はKU-939W-6(冬用)を季節に応じて使用する。
- パネルとパネルの間に隙間が出来ないように敷設すること。

3. 送湯配管(架橋ポリエチレンパイプ)の施工。

- 標準敷設例より配管必要長さを求め、架橋ポリエチレンパイプを用意する。
- パネルの溝部分のゴミ等を掃除機で取り除く。
- ヘッダーまでのパイプをあらかじめ引き出してから、パネルにパイプをはめこむ。



- 床下に配管を落し込む場合は、床下地に幅、25mm×長さ125mmの角穴を開ける。角穴部は、架橋ポリエチレンパイプに、傷がつかないようにカッター等でエッジ部をカットするか、ガムテープ貼りを行う。
- パネル以外の送湯配管は(別売)サヤ管で保護すること。
- ジョイント類は、必ずサンポットの純正部品を使用すること。
- 配管落し込み部のパイプは、浮き上らないようにパイプ押えを使用して押えること。
- パイプ押えの両端はパネルにしっかりとねじ止めること。

漏れ検査(空気圧試験)

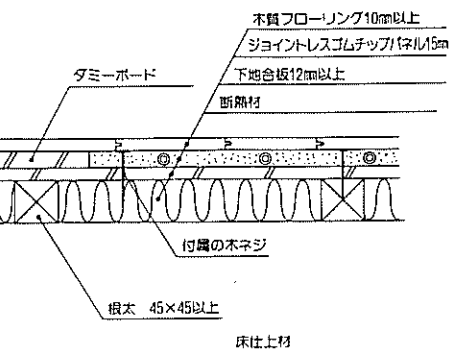
パイプの施工が終了したら必ず漏れ検査を行い、漏れのないことを確認すること。

試験圧力	2.0kgf/cm ²
検圧時間	60分以上
圧力降下	3%以内

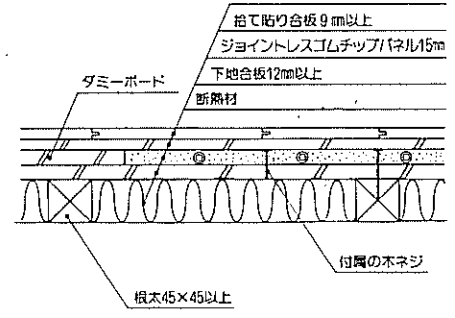
- 別売の圧力テスト用ゲージセットを使用すると、取付が簡単で正確に測定できます。ただし、空気加圧用のポンプかコンプレッサーが必要です。

床仕上材の施工

- パネルのうえに直接施工できる床仕上材と、T1合板(9mm以上)を捨て貼りした上に施工する床仕上材があります。
- 「直接施工床材」
- 床暖房用木質フローリングの10mm厚以上の物で釘・接着剤併用施工の床材。
- 床暖房用の畳。



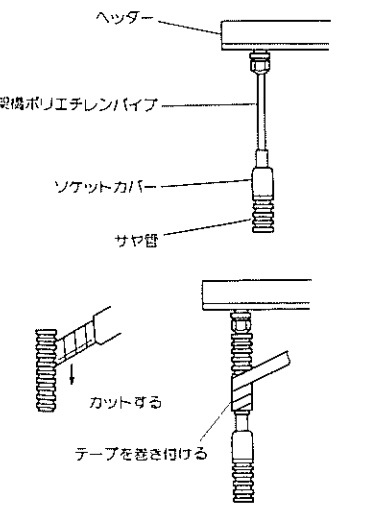
- 「捨て貼り施工床材」
- 床暖房用木質フローリングの9mm厚以下の物(ダイレクトタイプ等)
- 床暖房使用可能なビニール床シート・コルク類。
- カーペット



- 〈注意〉
- 床仕上材の施工は、床仕上材メーカーの施工要領に従ってください。
 - 捨て貼り合板は、9mm厚以上のT1合板を使用し、接着剤と釘を併用して固定してください。
 - 接着剤は別売のKU-939S-6(夏用)又はKU-939W-6(冬用)を季節に応じて使用し架橋ポリエチレンパイプ部をさけて塗布してください。
 - 接着剤が架橋ポリエチレンパイプ部に付着しないように注意してください。
 - ビニール床シート・コルク類は、捨て貼り合板の目地が床材の表面に出る場合があります。使用を控えるか、事前にお客様の承諾を取ってから使用してください。
 - 床仕上材を施工する前に必ず漏れ検査を実施してください。(漏れ検査の項目参照)パネルの施工終了後、床仕上材の施工が終了するまで圧力ゲージは試験圧力をかけたままにしておき、床仕上材の施工が終了時点で圧力確認を行ってください。

ヘッダー部の架橋ポリエチレンパイプの保護

- 架橋ポリエチレンパイプは、太陽光及び電燈光で劣化するため、ヘッダーまでの配管はサヤ管(別売)等で保護すること。
- ヘッダー部はソケットカバー(別売)を使用し、ヘッダーとソケットカバーの間にパイプが露出する場合は、下図のようにサヤ管を縦方向にカットしたものをかぶせたのち、テープ巻きすること。



サンポット株式会社

お客様相談窓口(受付時間:平日午前9時から午後5時まで)
☎0198-37-1177 FAX.0198-37-1192

札幌支店	〒065-0042 札幌市東区本町2条10丁目1番25号
釧路営業所	〒085-0051 釧路市光岡町8番1号
帯広営業所	〒080-0801 帯広市東1条南25丁目12番地
旭川営業所	〒078-8237 旭川市豊岡7条6丁目6番10号
函館営業所	〒041-0851 函館市本通4丁目17番25号
仙台営業所	〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4丁目2番40号
郡山営業所	〒963-8041 郡山市富田町字音路1番地109
青森営業所	〒030-0131 青森市問屋町2丁目18番18号
秋田営業所	〒010-0951 秋田市山王7丁目5番2号
岩手営業所	〒025-0301 花巻市北湯川第2地割1番地26
首都圏営業所	〒352-0001 新座市東北2丁目24番3号
信越営業所	〒381-0031 長野市大字西尾張部1114番地5
北関東営業所	〒321-0942 宇都宮市峰2丁目5番9号
大阪営業所	〒564-0022 吹田市末広町2番3号
富山営業所	〒939-8212 富山市掛尾町479番地4

サンポットエンジニアリング株式会社
サービス部 〒065-0042 札幌市東区本町2条10丁目1番25号
総サービスセンター 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4丁目2番40号

サンポットホームページ <http://www.sunpot.co.jp/>